

勤務医委員会 NEWS (静岡県医師会)

Vol. 7 (2019年7月号)

皆さま、こんにちは。

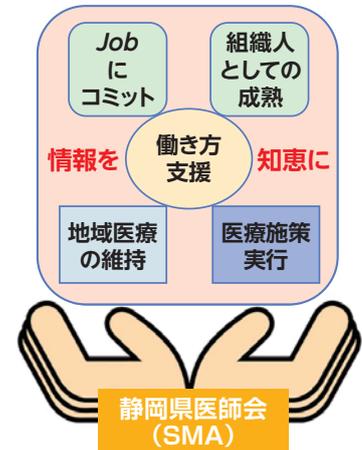
前回のVol.6 (2019年4月号) では、勤務医の皆さまに関心のある「医師偏在指標」と「医師の働き方改革」の概要について説明させていただきましたが、今回は「第22回地域医療構想に関するワーキンググループ (2019年6月21日開催)」での議論内容について触れてみたいと思います。

2015年3月に「地域医療構想策定ガイドライン」が国から提示されてから4年半となります。病院管理者にしてみると、「耳に聾（たこ）ができる」くらい聞かされている用語（地域医療構想）ですが、現場にて活躍する勤務医の先生方には別世界のことのように聞こえるかもしれません。団塊の世代が後期高齢者となる2025年以降、そして、全国ほとんどの地域で高齢者さえも減少する2040年以降に向けて、病院を中心とする医療提供体制の再構築を目指した国家施策ではあるものの、現場の実務者してみると、病床数が過剰であることは理解できても、目の前の業務遂行が精一杯で「医師の働き方改革」がどうなるのかを含め漠然とした思いが強いのではないのでしょうか。

多くの医療関係者は、病床数や病床機能の再編などは自然淘汰的に進むと考えているかと思いますが、国（厚生労働省）の立場では「歩きながら考えましょう」とは言いづらく、都道府県に対して様々な施策介入を行ってきています。実際、2019年度には、各都道府県に対して「都道府県単位の地域医療構想会議の設置」、「都道府県主催の研修会の実施」、「地域医療構想アドバイザーの活用」、「地域の実情に応じた定量的な基準の導入」を指示しました。私自身、静岡県医師会の勤務医代表理事として、先に述べた「地域医療構想アドバイザー」に指名いただくとともに、「静岡県方式」とされる定量的基準の作成に関わらせていただきました。静岡県方式の概要については、現在、冊子化され県内の各医療機関に送付されているかと思いますが、決して強制的な作業指標ではなく、各病院が自分達で判断して動ける支援材料の一つとだけいただければ幸いです。

さて、地域医療構想に関しては、2019年に入ってから、その実現に向けた検討・施策が積極的に進められています。ここ最近の傾向としては、構想区域（二次医療圏）単位での医療機関の再編統合に関して、地域の公立・公的医療機関等を対象とした積極的介入が進められつつあります。

以下に、その詳細を説明させていただきます。なお、各病院の各種データ等は、厚生労働省のウェブサイトに掲載されているものをそのまま掲載してあることをお断りしておきます。



[基本的な方向性]

2018年度の病床機能報告データを主たる材料に、全国の医療機関（病院が中心）の診療実績データ等进行分析し2019年年央までに国がその結果を報告（公開）することが予定されています。その際、「診療実績が少ない」または「診療実績が類似している」と判断された公立・公的医療機関等に対しては、構想区域の医療機関の診療実績や医療需要の動向等を踏まえつつ、医師の働き方改革の方向性なども加味した上で、当該医療機関の他の医療機関への統合や他の病院との再編統合について、地域医療構想会議で協議し改めて合意を得るように要請するといった流れが予定されています。

具体的には、「がん」や「脳卒中」、「心血管疾患」などの領域において、診療実績が特に少ない（A）か、先に述べた各領域において構想区域内に一定数以上の診療実績を有する医療機関が2つ以上あり、かつ、お互いの所在地が近接している（B）ことが診療実績等から確認され、A・Bのいずれかに相当する場合を「代替の可能性がある」と定義づけるようです。そして、1つ以上の領域で「代替の可能性がある」とされた医療機関を「他の医療機関による役割の代替可能性がある公立・公的医療機関等」と位置付けるとともに、その中でも大半の分析項目において「代替可能性がある」とされた医療機関を「再編統合の必要性について特に議論が必要な公立・公的医療機関等」として国からの介入を行っていく姿勢を表明しています。

実際、静岡県に厚生労働省医政局のメンバーが乗り込んでくるのかは現状不明ですが、改めて、自身の医療機関の立ち位置を分析して理解しておくことが大切です。なお、国が当面の判断材料とする診療実績等のデータは現在一部公開されていますので以下に掲載しておきます。

[構想区域（二次医療圏）ごとの医療機関の公開診療実績等]

（赤字は、「非稼働病床を有する医療機関」、「新たな病床を整備する予定のある医療機関」、「回復期・慢性期への機能転換を図る予定の医療機関（公立・公的病院等のみ）」です）

（賀茂構想区域）

No	病院名	設置主体	現状																													
			第7次医療計画における役割									2017年度																				
			がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	へき地	周産期	小児	在宅	医師数	病床稼働率	平均在棟日数	救急車受入件数															
公立・公的病院等																																
3	公益社団法人 地域医療連携協会 伊豆中央病院	公的等											15.9	0.43	18.8	721																
4	下田メディカルセンター	公立			○								16.7	0.60	13.3	1,229																
6	医療法人社団健育会西伊豆健育会病院	公的等			○							○	9.8	0.97	21.2	999																
その他の医療機関																																
1	医療法人社団健育会 熱川温泉病院	その他		○									7.2	0.97	184.1	61																
2	医療法人社団 康心会 伊豆東部病院	その他											10.2	0.08	76.4	344																
5	医療法人社団 泉寿会 下田温泉病院	その他		○									2.8	0.99	612.1																	
病床数 (2017年度病床機能報告)							具体的対応方針												No													
合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等	非稼働	2025年における役割									病床数 (2025年の予定)				議論の状況												
							がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	へき地	周産期	小児	在宅	合計			高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟・廃止等	介護保険施設等へ移行						
384	0	247	137	0	0	0																										
160	0	110	50	0	0	0																140	0	36	50	54	0	0	0	合憲済	3	
146	0	101	45	0	0	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	140	0	101	39	0	0	0	0	合憲済	4	
78	0	36	42	0	0	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	78	0	36	42	0	0	0	0	合憲済	6	
493	0	114	41	338	0	0																										
199	0	0	41	158	0	0																199	0	0	41	158	0	0	0	合憲済	1	
160	0	80	0	80	0	0																160	0	40	40	80	0	0	0	合憲済	2	
100	0	0	0	100	0	0																100	0	0	0	100	0	0	0	合憲済	5	

(静岡構想区域)

○個別の医療機関ごとの具体的な対応方針の協議の状況(2019年3月末時点)																		
No	病院名	設置主体	現状															
			第7次医療計画における役割									2017年度		救急車受入件数				
			がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	へき地	周産期	小児	在宅		医師数	病床稼働率	平均在床日数	
公立・公的病院等																		
1	静岡県立総合病院	公立	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	247.2	0.91	9.1	5,123
2	静岡済生会総合病院	公的等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	124.2	0.80	10.6	5,171
3	静岡市立静岡病院	公立	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	157.8	0.88	10.4	5,916
4	静岡市立清水病院	公立	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	68.9	0.73	15.8	3,369
5	静岡赤十字病院	公的等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	124.3	0.82	11.4	4,796
6	独立行政法人国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター	公的等					○							○	35.4	0.78	33.0	79
7	J A 静岡厚生連静岡厚生病院	公的等	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	30.5	0.68	22.7	722
8	静岡県立こども病院	公立	○					○	○	○	○	○	○	○	138.7	0.75	10.5	958
9	独立行政法人地域医療機能推進機構 裾ヶ丘病院	公的等							○	○					39.5	0.46	10.3	1,443
12	J A 静岡厚生連清水厚生病院	公的等							○	○					18.8	0.70	15.0	939
その他の医療機関																		
10	静岡広野病院	その他													4.3	0.94	306.2	
11	静岡瀬名病院	その他													4.0	0.95	288.3	

具体的な対応方針																													
合計	病床数 (2017年度病床機能報告)					2025年における役割									病床数 (2025年の予定)				議論の状況	No									
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等	非稼働	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	へき地	周産期	小児	在宅	合計			高度急性期	急性期	回復期	慢性期	研修・後援等	介護施設連携等へ移行			
3,900	1,578	1,748	364	210	0	0												662	662	0	0	0	0	0	0	合憲済	1		
662	662	0	0	0	0	0	○	○	○	○	○	○	○	○				521	55	466	0	0	0	0	0	0	合憲済	2	
521	50	471	0	0	0	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		500	300	200	0	0	0	0	0	0	合憲済	3	
506	312	194	0	0	0	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		463	5	378	79	0	0	0	0	0	合憲済	4	
475	6	390	79	0	0	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		465	227	238	0	0	0	0	0	0	0	合憲済	5
465	227	238	0	0	0	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		410	0	150	50	210	0	0	0	0	0	合憲済	6
410	0	150	50	210	0	0				○								265	78	92	95	0	0	0	0	0	合憲済	7	
265	78	92	95	0	0	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		243	243	0	0	0	0	0	0	0	0	合憲済	8
243	243	0	0	0	0	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		199	0	115	84	0	0	0	0	0	0	合憲済	9
199	0	115	84	0	0	0					○	○						150	0	105	45	0	0	0	0	0	0	合憲済	12
154	0	98	56	0	0	0					○	○						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	合憲済	10
2,545	0	384	419	1,520	222	213												0	0	0	0	0	0	0	0	198	合憲済	10	
198	0	0	0	198	0	0												0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	合憲済	11
180	0	0	0	180	0	0												0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	合憲済	

(志太榛原構想区域)

○個別の医療機関ごとの具体的な対応方針の協議の状況(2019年3月末時点)																		
No	病院名	設置主体	現状															
			第7次医療計画における役割									2017年度		救急車受入件数				
			がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	へき地	周産期	小児	在宅		医師数	病床稼働率	平均在床日数	
公立・公的病院等																		
1	藤枝市立総合病院	公立	○	○	○				○	○					132.5	0.84	10.4	5,095
2	市立島田市民病院	公立	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	86.6	0.86	14.0	4,125
3	焼津市立総合病院	公立	○	○	○				○	○	○	○	○	○	97.0	0.87	11.1	3,030
4	コミュニティホスピタル甲賀病院	公的等		○		○			○						25.3	0.62	31.1	107
5	榛原総合病院	公立	○		○	○			○	○	○	○	○	○	17.0	0.44	17.3	1,908
その他の医療機関																		
6	誠和藤枝病院	その他													6.4	0.88	264.0	
7	藤枝平成記念病院	その他		○					○						22.8	0.72	20.3	252
8	岡本石井病院	その他				○			○					○	9.7	0.93	55.9	10
9	医療法人社団 八洲会 はいなん吉田病院	その他													4.9	0.86	261.6	
10	聖隷リハビリテーション病院	その他		○											6.9	0.97	88.4	
11	駿河西病院	その他													4.4	0.98	285.1	

ンス支援ワーキング」などが動いており、「屋根瓦塾 in Shizuoka」という若手医師の支援ならびに県内への医師定着事業が積極的に進められていることや、静岡県内への医師誘導を目指す医師バンクシステムの構築準備が行われていることなどは案外知られていません。

医師会員以外の勤務医の先生方にも、その種の場合での議論ができるチャンスは当然ありますが、医師会員向けに貴重な情報が集中する傾向は否めませんので、皆さま方からの積極的なアプローチを期待しています。実際、私は静岡県医師会員となり30年近くになりますが、医師会に早くから入会して良かったと思うことは大事な情報が迅速に取得できることです。人より早く重要な情報を取得することが、人より先に行動を起こせることにつながります。日本医師会では臨床研修医の入会費無料を進めています。私は、社会に影響力を及ぼす指導医クラスの先生方が医師会に参画することが大切だと考えています。

そのあたりの詳細につきましては、下記事務局にもお問い合わせください。

(静岡県医師会主催の「勤務医向け」研修会等の予定)

- ・2019年7月14日(日) 第19回静岡県の医療クラークを育てる会 (アクトシティ浜松)
- ・2019年7月29日(月) 医師の働き方改革に関する意見交換会(ホテルセンチュリー静岡)
- ・2019年8月25日(日) 日医 地域包括診療加算・地域包括診療料かかりつけ医研修会
(日本医師会館及び静岡市レイアップ御幸町ビル)
- ・2019年9月15日(日) 第1回「屋根瓦塾 in Shizuoka 2019」(聖隷浜松病院)
- ・2019年9月28日(土)～29日(日) メディメッセージ2019 (ツインメッセ静岡)
* 実行委員会として参画
- ・2019年10月12日(土) 地域保健医療研修会「外国人医療対応」(ホテルアソシア静岡)
- ・2019年10月14日(祝・月) 日医かかりつけ医機能研修制度第2回応用研修会
(プラサヴェルデ)
- ・2019年10月20日(日) 第20回静岡県の医療クラークを育てる会
(JR静岡駅ビル パルシェ)
- ・2019年11月17日(日) 第2回「屋根瓦塾 in Shizuoka 2019」(伊東市民病院)
- ・2019年11月17日(日) 日医 地域包括診療加算・地域包括診療料かかりつけ医研修会
(レイアップ御幸町ビル)
- ・2019年12月1日(日) 日医かかりつけ医機能研修制度第3回応用研修会
(浜松市医師会館)
- ・2019年12月14日(土) キャリア支援シンポジウム (静岡県立総合病院)
- ・2019年12月22日(日) 第21回静岡県の医療クラークを育てる会 (プラサヴェルデ)

*とりあえず、年内の予定のみ。開会時間等、プログラムの詳細や参加申し込み方法等は下記事務局までお問い合わせください。

(文責：静岡県医師会理事・勤務医委員会委員 小林利彦)

*お問い合わせ先：静岡県医師会地域医療部事務局

電話：054-204-3310 Email：drsupport@jim.shizuoka.med.or.jp

